



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

「初めてのお出かけ／危険な遊び」

作・民富田智明

Copyright © 2025 民富田智明／合同会社関東人間屋一家 All Rights Reserved.



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

○粗筋

高校生の春小路清子が、親なしの初めての
お出かけで秩父の自然公園に遊びに行った。
警備員の人間原堅次郎も、自然公園に遊び
に来ていた。
清子は、散策路でたまたま堅次郎とすれ違
い、軽い挨拶をして別れた。
清子が東屋で一休みしていると、若い男に
刃物で脅されて、「遊び」と称して連れ去ら
れてしまった。
堅次郎は、清子が若い男に連れられている
のを見かけ、怪しんだ。
不審な男は森の中で清子に悪戯をしようと
したが、寸前で堅次郎が駆けつけた。
堅次郎は、特殊警棒で不審な男に立ち向か
い、刃物で負傷するも、男を追い払った。
清子は、堅次郎と共に交番に行き、警察の
保護を受けた。



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

○ 登場人物

春小路清子（18）どこにでもいる普通の高校生。普段は家の中で遊んでいることが多いが、親なしで初めて秩父の自然公園までお出かけをしてみたのだが：：。

人間原堅次郎（39）元運転手現警備員の一般。寺社巡りと山歩きが好き。戦闘訓練を受けたことがないし、気も弱いが、正義感は強い。護身用に特殊警棒を持ち歩いて

いる。

不審な男（25）35）本名不詳。性犯罪者。短刀を片手に清子に迫り「危険な遊び」に誘い込もうとする。雰囲気美男子なので警戒されにくい。



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

○山の遠景

字幕 「令和年間。武州秩父地方」
雄大な秩父山地が広がっている。

○自然公園・散策路

登山装備をした高校生の春小路清子
(18)が歩いている。

山々、深い森を見て楽しんでいる。

清子(独白) 「私、春小路清子。どこにでも

いる普通の高校生。この日は、秩父の自然公園まで一人で遊びに行きました。いつもは家の中でお絵描きとかしてるんだけど、近頃、登山に興味を持ち始めて、挑戦してみたいんです」

清子が歩いていく。

○自然公園・別の散策路

登山装備をした入間原堅次郎(39)が歩いている。
堅次郎は、写真を撮って景色を楽しん



○ 題字挿入

が
：
：
。
その様子を遠くから眺める、不審な男
き出す。

堅次郎がしばらく清子に見惚れて、歩

清子が軽く会釈して歩いていく。

堅次郎 「こんにちはっ：：」

堅次郎が照れてぎこちなく微笑する。

清子 「こんにちは」

清子が堅次郎に微笑する。

堅次郎が清子に目を向け、見惚れる。

清子が堅次郎に気付いて目を向ける。

郎が歩いてくる。
清子が歩いていると、向こうから堅次

清子が歩いてくる。

○ 自然公園・別の散策路

でいる。



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

○ 自然公園・広場・東屋

清子が歩いてきて、リュックを置いて腰を掛ける。

清子 「はあく、疲れた〜」

清子が、水筒を手に取って温かいお茶を飲み、軽食のお菓子を食べる。

その様子を見ている不審な男が…。

清子が腕を上げて筋を伸ばしたりしていると、不審な男が清子に接近していく。

清子が男に気付く。

男 「可愛いね。お兄さんとあっちで楽しく遊ぼうよ」

清子 「誰？」

男 「誰でもいいでしょ？一緒においでよ」

男が短刀を抜いてちらつかせる。

清子が絶句する。

男 「嫌とは言わせないよ」

男が短刀を突き付けて清子連れ出し



ていく。

○ 自然公園・散策路

堅次郎が歩いている。

向こうから清子が男に連れられて歩いてくるのが見える。

清子が堅次郎に気づくが、何も言わな

い。

男と清子が堅次郎とすれ違う。

清子の表情が硬い。

男の不敵な笑み。

男と清子が通り過ぎていく。

堅次郎「あの」

男と清子が立ち止まる。

男「なんでしよう」

堅次郎「失礼ですが、妹さんですか？」

男「ええ。そうですが？」

堅次郎「あ、いや、なんでもないです」

男「可愛いでしょう」

堅次郎「ええ……」



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

清子（独白）「誰か、助けて……」

堅次郎「おい、やめろ！」

清子の瞳に堅次郎の雄姿が焼き付く。

男が堅次郎に向き直る。

男「ち、仕方ない……」

男が短刀を構えて堅次郎に迫る。

堅次郎が身構えて護身用の特殊警棒を抜く。

男が短刀で堅次郎に斬りかかる。

堅次郎が短刀を避ける。

男が短刀で執拗に斬りかかるが、堅次郎が避ける。

男が短刀で堅次郎に斬りつける。

堅次郎「ぐあっ」

堅次郎は頬に裂傷を負う。

男が堅次郎に迫る。

堅次郎が傷を押さえながら特殊警棒で身構える。



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

清子 「きゃあっ」

堅次郎 「うおおお！」

堅次郎が短刀を避けて、特殊警棒で胴体を叩きつける。

男 「ぐあっ」

男が転がるように倒れて動かなくなる。

堅次郎 「気絶してるだけだよな……」

堅次郎が特殊警棒を腰に戻す。

清子が堅次郎の手を握る。

清子 「ありがとうございます。お礼をさせて下さい」

堅次郎 「あ、いや、お礼なんて……」

清子 「それだと私の気が済みません……」

堅次郎 「とにかく、ここを離れよう」

清子 「はい！」

清子と堅次郎が足早に歩いていく。

○自然公園・駐車場

清子が堅次郎に先導されて歩いてきて、車の前まで来る。



短編映画「初めてのお出かけ／危険な遊び」

清子 「あの、私、春小路清子です。良かったらお名前を教えてください」

堅次郎 「名乗るほどのもんじゃないですが、入間原堅次郎っていいいます」

清子 「入間原堅次郎さん……」

清子と堅次郎が車に乗り込む。

車が走り出す。

清子（独白）「この後、堅次郎さんと一緒に交番に行つて事情を話し、保護を受けました。警察の捜査によって、犯人はすぐに逮捕されたそうです」

○山の遠景

雄大な秩父山地が広がっている。

完